

千本財団奨学生レポート(2021.3)

2021年3月23日（火）に実施する奨学生認定授与式にてお話していただく自己紹介の内容です。書いていただいた内容をもとに、財団事務局でスライドを作成します。スライドを作成する都合上、今回のレポート提出期限は2021年3月15日（月）12:00までとします。いつもより期限が短くなるので注意してください。

メールアドレス *

hnb.odoriko.312@gmail.com

名前【NAME】 *

グエンバオフン

所属大学名 *

同志社大学

2/18に実施したオンライン交流会の感想をお願いします。交流会の時間の長さや話題が適切であったか、今後オンライン交流会で行いたいことなど、自由に書いてください。今後、オンライン交流会を実施する際、参考にします。 ※200字以上 *

2/18に実施したオンライン交流会の感想は全体的に楽しかったです。ただ雑談に過ぎませんでした。コロナでこのような日常生活に関する話を他人にシェアする機会があまりありませんでした。今回の交流会により、自分の話を聞いてもらう相手が出て、少しでも気が楽になりました。また、小林先生から、資格、ゼミ、就活に関する貴重なアドバイスもいただいて良い勉強になりました。このようなご相談をより多くしたいのですが、時間の制限があったため、ちょっと残念です。しかし、小林先生のメールアドレスも頂きましたので、詳しくは個人で連絡したほうがいいと思います。

将来の夢と大学で勉強したいことについて詳しく書いてください。 ※200字以上*

大学卒業後、まずは数年間日本の企業で働き、新しい考えややり方を実践的に学びたいと思います。そして、帰国して日本で得た知識や経験を生かし、ベトナムでマーケティング会社を設立したいと考えています。また、日本では知識や経験だけでなく、日本の文化や日本人の考え方、精神についても詳しく学んで、母国での自分の会社を通じて、両国の交流を促進したいです。つまり、経済活動を通じて日本とベトナムの架け橋となり、両国の発展に貢献できる人材を目指しています。

大学ではマーケティング、特に消費者行動学について勉強したいです。マーケティングの以外に、心理学にも関心を持っており、この二つの分野の間で強い繋がりと確信しております。人間の脳が「正しい」と判断しても、実際はそうではないことと誤解はいっぱい存在しており、不思議だと思いません。マーケターがその心理の現象をよく利用し、消費者の行動を分析し、消費者が意識しないうちに商品を買わせて、手品師の様です。それは本当に面白いと思って、どの様な方法でマーケティングや心理学を上手く合わせて戦略を打ち出すかを詳しく勉強したいです。

2020年度の振り返りと2021年度の抱負（勉強面） ※200字以上*

勉強面から見ると、2020年度は大変な一年でした。新入生のオリエンテーションも中止され、教授方、先輩方と相談することができなかつたので、科目登録、大学のオンラインシステムの操作、時間割作成などは全部自分で調べなければなりませんでした。困っていた新入生が数多くいたと思います。しかし、コロナに負けずに、私は勉強を一生懸命頑張りました。時間を厳しく管理することによって、未受験のテスト、未提出の課題とレポートなどが一切なく、自分の希望に達したとは言えませんが、成績は悪くなったです。大学生活が実感できなかつたとは事実ですが、コロナだからこそ様々なスキルが身に付けられました。

二年次の2021年度に向けて、計画を立て準備を進めております。今年度、三つの目標が立てられました。一つ目はC以下の評価と未受験のテスト、未提出の課題とレポートがないことです。二つ目はもう一つの資格を取ることです。三つ目は秋学期から自分に合ったゼミに入ることです。一年次と比べると、専門科目が多くなり、内容も難しくなると思いますが、より頑張ります。

2020年度の振り返りと2021年度の抱負（勉強面以外、生活面） ※200字以上*

生活面から見ると、2020年度は我慢の一年でした。大学の一年次は大学生活を楽しむ期間だとよく言われますが、去年はコロナで春学期の講義がオンラインとなり、キャンパスへの入構が厳しく制限されました。せっかく試験に頑張り、ようやく入学ができたにも関わらず、多くの行事が中止となり、キャンパスに行く機会がなかつたとは、私だけではなく、同年度の多くの新入生にとって非常につらかつたです。バイト先も、コロナで売上が急減したため、シフトが大きく削減されました。財団からの支援のおかげで、経済的な困難は特にありませんでしたが、転職を決めました。

2021年度には、新しいところに行って、新しいことを体験したいと思いますが、コロナがいつ収まるかどうかは、誰でも分かりませんので、コロナが早く終息することを願うしかできません。しかし、自分はコロナに負けず、勉強でも、バイトでも一生懸命頑張ります。

第3期奨学生へのアドバイス（大学での講義の受け方、入学前に準備しておくことなど） ※200字以上 *

第3期奨学生の皆さんへ、時間の管理、レポートの書き方、メールのマナーに関するアドバイスは三つあります。

まず、授業は主にオンライン式、またはオンデマンド型なので、確かに便利ですが、早く視聴せずに、貯まってから見ると結構しんどいです。また、試験もほとんどオンラインで実施されるか、レポートに変更します。そのため、レポートの数が多くなります。締め切りをきちんと管理しないと提出遅れ、提出の忘れることが起こりやすいです。

更に、上記の通り、レポートが非常に多いですが、表現、言葉遣いなどが作文と違うので、書き方を早く身につけないと大変困ります。レポートの書き方に関する参考資料は、大学の学生支援センターのHPをチェックすること、または本屋さんで買うことをお勧めします。

最後に、大学では、課題、レポートを提出するときをはじめ、先生との連絡はメールで済ませることが多いので、メールのマナーも非常に重要だと思います。丁寧にメールを書くことは先生に良い印象を与え、また、今後のインターンシップ、就活にも非常に役に立つので、一年次からメールの書き方にも十分に注意しなければなりません。

このフォームは一般財団法人千本財団 内部で作成されました。

Google フォーム